

11月20日(取次搬入)発売予定!

従来のエコロジー思想を刷新する
「人新世」時代の来たるべき環境哲学!!

自然なきエコロジー

来たるべき環境哲学に向けて

「INNOVATIVE CITY FORUM 2018」にて基調講演のため来日した
ティモシー・モートンの主著! ついに邦訳!!

80~90年代に流行したエコロジー思想は、手つかずの「自然」を称揚する一方で、ディープエコロジーに至っては人間の存在をも否定するファシズム的発想を含みこみました。本書は、従来のエコロジー思想における「自然」の概念を、ロマン主義の文学やネイチャーライティングを分析することで、その問題性を指摘すると同時に、ブライアン・イーノらの現代音楽を取り上げ、人間と自然を対立的に考えるのではなく、「とりまくもの」として思考します。「人新世」がホットワードとなった今日、人間や都市、テクノロジーを含みこむ「自然」の概念が求められていると言えるでしょう。本書は、こうした「自然」やエコロジー概念を刷新する、21世紀思想の幕開けを告げる思想書です。

ティモシー・モートン (Timothy Morton)

1968年、英国・ロンドン生まれ。ライス大学英語学科「リタ・シーア・ガフェイ」名誉教授。イギリス文学研究が専門ながら、その関心領域は、エコロジー、哲学、文学、生命科学、物理学、エコクリティシズム、音楽、アート、建築、デザイン、資本主義、詩学、食と多岐にわたる。

【訳者】

篠原 雅武(しのはら まさたけ)

1975年生。社会哲学、環境学専攻。1999年京都大学総合人間学部卒業。2007年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。

著書:『空間のために 遍在化するスラム的世界のなかで』(2011年、以文社)

『全-生活論 転形期の公共空間』(2012年、以文社)

『複数性のエコロジー 人間ならざるものの環境哲学』(2016年、以文社)

四六判 上製カバー装 464頁 本体価格:4,600円 (定価:4,968円)

希望陳列コーナー:現代思想・社会・都市論・建築

番線	冊数	書籍名
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0350-8 C0010 本体価格:4,600円+税 (新刊) 自然なきエコロジー 来たるべき環境哲学に向けて
	冊	以文社 ISBN 978-4-7531-0335-5 C0010 本体価格:2,600円+税 (重版) 複数性のエコロジー 人間ならざるものの環境哲学

『自然なきエコロジー』訳者 篠原雅武によるティモシー・モートン論

複数性のエコロジー

ノン・ヒューマン

人間ならざるものの環境哲学

緊急重版!!

※指定配本の都合上11月13日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。

※『複数性のエコロジー』の書籍は重版のため、ご注文で承ります。